



地域に支えられ50年 かしこく、なかよく、たくましい大東っ子

校長 永山 誉

プール指導が始まり、夏の日差しの下、子どもたちは元気に活動しています。早いもので1学期も残り1か月となりました。7月は1学期のまとめの月。子どもたちには、1学期の活動をしっかりと振り返らせて夏休みを迎えさせたいものです。

さて、大東小学校の開校記念日は7月7日。大東小学校は、地域の方々に支えられて、今年創立50周年を迎えました。今月7日には、多くの来賓の方々や地域の方々をお招きし、本校体育館にて創立50周年記念式典を挙行了たします。本年ここに大東小学校が創立50年を迎えられますことに、保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝いたします。

大東小学校の歴史を振り返ってみますと、今から50年前、昭和44年4月1日に、当時の浦和市三室、山崎、下木崎、大東、瀬ヶ崎、道祖土を学区とし地域の皆様の注目を浴びながら、大東小学校がこの地に誕生しました。児童数602名、15学級という規模でのスタートとなりましたが、児童数増加により、翌年3月にはプレハブ4教室を建設しています。開校した年は、写真にありますように現在の南校舎しかありませんでした。

ところで、大東小学校の誕生は、昭和44年4月1日ですが、開校記念日はなぜ7月7日となったのでしょうか。記録によりますと、開校当時は、また様々な工事が行われており、工事中での開校となったとのこと。その後校舎が完成し、開校式及び校舎落成式を7月7日に挙行し、この日を開校記念日としたことです。

あれから50年。昨年から今年にかけて、大東小学校では様々な創立50周年事業が行われています。その一つに、今年の運動会開催時期に合わせ、スローガンが書かれた横断幕が屋上と道路脇のフェンスに掲げられました。

「なんでもチャレンジ 助け合い みんなでつくる 大東小」

このスローガンは、昨年度全校で検討され、3年2組で考えたものが選ばれ、50周年児童会スローガンとなりました。3年2組では、このスローガンに「みんなが何事にもチャレンジしてよりよい学校にしたい」「上級生や下級生が助け合って、絆が深められるようにしたい」という思いをこめたとのこと。その後代表委員会で検討され、児童会として「何事にも積極的にチャレンジし、みんなで助け合い、絆を深め、笑顔がキラリと輝く大東小になることを目指して」という思いをこめました。この横断幕は、次の節目の年まで大切に掲げられますが、いつまでも、笑顔がいっぱいの大東っ子を見守ってほしいものです。

創立50周年事業にかかわり、創立50周年行事実行委員会をはじめPTAの皆様、そして地域の皆様に多大なる御支援を賜りましたことにこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



豆知識「校章の由来」



- ・昭和46年9月17日 中村高樹 様 (当時浦和工業高校教諭) の案が採用され制定されました。
- ・この校章にこめた中村様の思いは次の通りです。

「夏の太陽のきびしい光はたのもしいものです。冬のすき通るような光もすばらしいものです。

明るい太陽の光をあびて、元気にとびまわる子どもの姿は、何もにもかえりたいものです。

校章は太陽の光をあらわしています。強く、そしてやさしい子どもに育つことを願ってこの校章を作りました。」